

第 72 回神奈川県アイスホッケー選手権 開催要項

1. 名 称 : 第 72 回神奈川県アイスホッケー選手権
2. 主 催 : 神奈川県アイスホッケー連盟
3. 主 管 : 競技委員会
4. 大 会 役 員 :

会 長	藤木 幸太				
大会 委員 長	中島 透				
競技 委員 長	内田 貴典				
大 会 役 員	伊藤 一	江守 永	小野 真	鍵和田 和明	菊地 拓海
	佐々木 暁	佐々木 基喜	天明 太郎	西村 三雄	長谷川 宜彦
	畑中 和幸	三浦 浩幸	水原 健司	宮本 淳平	山田 瑛史
	山本 秀彦	飯田 松男			

幹 事 チ ー ム : 神奈川メープルリーフ A、アイスバンディッツ、ケッターズ、湘南 BRUTUS、NEC-B、

レフェリー 委員 長 佐々木 暁
レフェリー 団 安藤 仁詩 大山 訓弘 奥山 美紀 鍵和田 和明 勝山 栄
河久保 昌利 近藤 健一 佐々木 基喜 下山 浩二 立花 勝彦
田中 哲治 戸高 英明 中村 秀岳 長谷川 宜彦 畑中 和幸
本田 翔馬 山本 秀彦 吉岡 唯 吉田 見登留
他、チーム登録レフェリー、日ア連公認レフェリー

大 会 医 師 江守 永(県連医事委員長)、三辺 武幸(県連医事副委員長)
救 急 指 定 病 院 重傷の場合は 119 番すること
軽傷の場合:(24 時間受付・年中無休)
横浜市救急医療センター TEL #7119(又は 045-222-7119)
5. 会 期 : 2024 年 9 月 2 日 ~ 2024 年 3 月 下旬
6. 会 場 : KOSÉ 新横浜スケートセンター ・ 横浜銀行アイスアリーナ
7. 参 加 資 格 : 神奈川県アイスホッケー連盟(以下 KIHF と呼ぶ)【一般】に 2024 年度登録をしているチーム及び選手と役員。同種に登録されたチームはすべて参加しなければならない。

注 1	大会参加チームの選手・役員は「日ア連 Face-Off システム」により、2024 年 8 月 21 日までに県連宛到達したものを有効とし、大会出場を認める。
注 2	大会参加費及び日ア連登録費未納チームは本大会については失格とする。失格となったチームは第 79 回国民スポーツ大会神奈川県予選会にも参加資格を有しない。
注 3	県内【一般】登録チームに所属する選手について、大会期間中は県内チーム間での移籍は原則認めない。
注 4	審議委員会に於いて出場停止等処分を受けたチームに所属した者は、たとえ他チームに移籍をしても当該処分が終了するまでは、同処分が継承される。
注 5	大会参加申し込み以降、棄権、失格、出場停止、試合放棄などで予定された試合を行えなくしたチームは参加費以外に当該試合リンク代の 1/2 を大会会計に補填すること。またその場合のリンク利用権は、不戦勝チームが有する。

注 6 不参加の連絡は「info」の後に「@kihf.net」まで mail 連絡すること。

8. 大会形式及びグループ分け:

- a. 各部グループ分けは前回第 71 回神奈川選手権の結果による。
4 部及び 5 部はボディチェック禁止ルールを適用する。
- b. 1 部 2 部 4 部(各 8 チーム)は総当たりリーグ戦とし、各チーム 7 試合の結果により順位を決定する。
3 部 5 部(各 6 チーム)は総当たりリーグ戦(1 次リーグ)を行い、各チーム 5 試合の結果により上位 3 チームと下位 3 チームに分かれ順位決定リーグを行う。
- c. 次回第 73 回神奈川県アイスホッケー選手権のグループ分けは今回第 72 回神奈川県アイスホッケー選手権の成績により、各部上位 2 チームと下位 2 チームを入替戦なしで入れ替える。
ただし、3 部と 4 部の入れ替えについては 4 部の上位 2 チームに「3 部に昇格するか 4 部残留するか」の選択権を与える。
 - ・2 チームが昇格希望の場合 3 部下位 2 チームが 4 部に降格する。
 - ・1 チームが昇格希望の場合 3 部最下位 1 チームが 4 部に降格する。
 - ・2 チームが残留希望の場合降格昇格は行わない。
- d. 次回第 73 回神奈川県アイスホッケー選手権でチーム数の加減が生じた場合は、1 部 2 部は 8 チームの編成を維持し、3 部以下で調整をする。
- e. 今回第 72 回神奈川県アイスホッケー選手権に出場したチームで、第 73 回神奈川県アイスホッケー選手権に出場しない(あるいは出来ない)チームが生じた場合のグループ分けは、各部入替を実施後上記 d. の編成となるように調整する。
- f. 審議委員会の処分による出場停止チームは、次回第 73 回神奈川県アイスホッケー選手権では、第 72 回神奈川県アイスホッケー選手権の成績により所属する部の最下位とし、その次の第 73 回神奈川県アイスホッケー選手権では自動的に降格となり、グループ分けは前記 d. の編成となるように調整する。
ただし、3 部と 4 部の入れ替えについては c. 項の規定が優先する。
- g. 新加入チームが生じた場合は最下位の部より参加とする。

9. 参 加 チ ー ム :

- | | |
|----------|--|
| 【1 部リーグ】 | ケッターズ、EAGLES、ハマクラブ A、チームハセガワ B、Mavericks、箱根クラブ、NEC-A、神奈川メープルリーフ A、 |
| 【2 部リーグ】 | 富士通 RED BULLETS、サンダーバード、S Blitz、常盤台ユベントス、イワトビペンギンズ、YOKOHAMA BAY BLUES、アイスバンディッツ、横浜 JETS、 |
| 【3 部リーグ】 | Big Buzz、スーパー・ケッターズ、上條会 Mao's、BERKS、B.B.KINGS、日産自動車ピストンズ、 |
| 【4 部リーグ】 | 横浜ダイヤモンドズ、ゼロックス・アイスホッケークラブ、NEC-B、ENEOS WAVES、横浜ガルズ、YOKOHAMA BAY JAZZ、サザンレッドウイングス、神奈川メープルリーフ B、 |
| 【5 部リーグ】 | ハマクラブ B、ロックホッパーペンギンズ、TUS オリオンズ、S Lightning、スパイラルスケートクラブ、湘南 BRUTUS |
- (休部) リンクス、チームハセガワ Z、JINXS、荒鷲クラブ、チームハセガワ A

10. 参加費 : 1部リーグ ¥232,900
2~5部リーグ ¥218,900

上記参加費及び登録費を下記口座へ 9月30日までに振り込むこと。なお、期日までに入金確認の取れないチームは出場を認めないこととし、県連審議委員会により処分を科する。

振込先 横浜銀行 本店営業部 普通口座 6097936
神奈川県アイスホッケー連盟

11. 競技規則 : 神奈川県アイスホッケー選手権の定めるローカル・ルールを除いては原則としてIIHF公式規則で行う。23-24シーズンルール変更を適用する。

補助規則(ローカル・ルール) :

- a. 連盟未登録選手が出場した場合は、その試合に限り没収試合とし、そのチームは不戦敗(スコアは0対1)とする。
この場合、審議委員会により罰則を科す。
- b. 出場資格があるにも拘らずオールメンバー表に記載されていない選手が出場した場合、関係した得点は無効とする。ペナルティは課さない。当該選手は残り時間出場できない。
- c. ベンチには、ゴールキーパー2名・スケーター20名の計22名、役員6名迄入ることができる。
- d. IIHFルール第21条に基づき、試合開始整列時に1名のゴールキーパーと5名のスケーター、役員1名を最低人数とし、これに満たないチームは試合放棄とみなし不戦敗(スコアは0対1)とする。
また試合中にけがやペナルティなどで、正規の人数(3名のスケーター)をリンク上にそろえることができなくなったチームはその時点で試合没収とする。
- e. ユニフォームを着用しない役員氏名を当該試合のメンバー表に記載し、試合開始から終了までの間、常時ベンチ入りさせること。
- f. ベンチは試合日程表の左側チームが本部席より見て左側とし、ホームチームとする。
- g. すべてのプレーヤーはマウスガードを使用しなければならない。マウスガードは氷上に落ちたとき目立つカラーリングを施したものを使用すること。フルフェイス着要でもマウスガードは必須とする。ゴールキーパーは必須としない。
- h. 1974年12月31日より後に生まれた選手はフェイスケージまたはバイザーかフルバイザーを着用しなければならない。バイザーは、目及び鼻が全て覆われるものでなければならない。(IIHFルール第9条7)
該当選手は、「V」の表示をプログラムに明記する。
バイザーは無色透明なものとし、それ以外は使用出来ない。
大会開始日に20歳以下のプレーヤーは、フェイスケージまたはバイザーかフルバイザーを着用し、首とどのプロテクターを着用しなくてはならない。(IIHFルール第202条)
該当選手は、「T」の表示をプログラムに明記する。
大会開始日に18歳以下のプレーヤーは、パックもスティックのブレードも貫通できないように作られたフェイスケージ及び首とどのプロテクターを着用しなくてはならない。(IIHFルール第202条)
該当選手は、「F」の表示をプログラムに明記する。
- i. 危険な用具を着用している選手は試合に出場できない。(IIHFルール第9条8)

- j. 選手は背中に加え、両袖にも番号(概ね高さ 10cm)がついたジャージを着用しなければならない。(IIHF ルール第 9 条 2)
血液感染予防のため、各チーム予備のユニフォームを用意する事が望まれる。
- k. ユニフォームの色が同系色で、ペナルティのコールを誤る可能性があるとしてレフェリーが判断した場合、レフェリーの指示に従い、本部席より見て右側のチームがベストを着用する。
- l. 3 回目のペナルティを犯した選手はその試合の残り時間をゲームアウトとする。(ゲームシートの NOTES 欄に「時間・番号・3 回目のペナルティにより退場」と記す。20 分のペナルティは加算しない。)
ペナルティのカウントは、以下のとおりとする。
① 単独のマイナーペナルティ(2 分)は、カウント 1。
② ダブルマイナーペナルティ(2 分+2 分)はカウント 2。
③ INTER・TRIP・HOOK・SLASH・BOARD・CHARG・ELBOW のペナルティは 2 分の場合カウントは 1。5 分の場合カウント 1 とします。5 分が 2 回目の場合は自動的に 5+GM になるのでその時点で退場となります。
④ ABUSE、UN-SP などの単独の MISC(10 分)は、カウント 1。
⑤ ベンチマイナーペナルティはカウントしない。(PB に入る代行者本人のペナルティではないため)
⑥ ゴールキーパーのディレイ(遅延行為)のペナルティは 3 回にカウントしない。
- m. ヘルメットは、ヘルメットの下端と眉毛との間に指 1 本分以上のゆとりがないように着用しなければならない。また、あごひもとあごの間のゆとりも、指 1 本分のみとする。
ヘルメットの耳カバーは 2024 年 8 月 31 日までに装着すること。それ以降未装着での出場は認めない。
- n. 氷上にいるキャプテン、2 名以内のキャプテン代行のみが、ルール解釈に関する問題について、レフェリーと話をすることができる。
キャプテンまたはキャプテン代行が氷上にいない場合、いずれもレフェリーからの要請がない限り、レフェリーと討議するためにベンチから氷上に出ることはできない。(IIHF ルール第 6 条 1)
- o. 4 部以下に適用されるボディチェック禁止ルールについて
相手の胴体を狙ったチェック(ボディチェック)を禁止する。
(ボディ以外へのチェックは元々禁止されている)
パックに対してプレーすることにより生じる必然的、自然的なボディコンタクトは問題ない。また、両選手の意図しない偶発的な衝突は問題としない。
このルールに違反した場合「イーガルヒット」とし程度によりマイナーペナルティ、メジャーペナルティあるいはメジャー+ゲームミスコンダクトペナルティが課される。
- p. ユニフォームのネーム規定 (IIHF ルール第 9 条 2)
今大会は現行ユニフォームの使用にあたっては適用せず、2026 年 9 月 1 日より日ア連登録された氏名の姓のみとする。ユニフォームの新調時(チームとしても個人としても)には規定どおり日ア連登録された氏名の姓のみとすること。緊急的に借りたユニフォームで出場する場合はネーム部分を同系色の生地で隠すか修正すること。テープ張りでの修正は禁止する。
- q. ユニフォームのタイストラップ規定 (IIHF ルール第 9 条 3)
今大会は未装着の現行ユニフォームの使用を可とする。ユニフォームの新調時(チームとしても個人としても)には規定どおりタイストラップを装着のこと。2025 年 9 月 1 日より完全義務化とする。なお、未装着で試合に参加の場合はユニフォームがパンツの上にかぶさるように正しく着用してベンチから出ること。

12. 競技時間 :
- a. 練習 5 分、各ピリオド正味 15 分、インターバル 3 分で行う。ただし、貸し切り時間内に試合終了しない事が予想される場合は、SV の判断により残り試合時間をロス込みにする場合がある。同点は引き分けとする。
 - b. タイムアウト無し。
 - c. オールメンバー表は試合開始 20 分前までにオフィシャルへ提出すること。
 - d. ロス込時間の取り扱い
得点時及びペナルティ発生時は時計を止め次のフェイスオフでスタートする。
13. 順位 :
- a. 勝ち点制とし、勝ち点の多いチームから順位づける。(勝ち点は勝ちチーム 3 点、引き分けには各 1 点を与える。)
 - b. 勝ち点在同一の場合、勝利数の多いチームを上位とする。
 - c. 勝ち点と勝利数が同一の場合は、対戦結果の勝ちチームを上位とする。
 - d. 対戦結果で順位がつかない場合は、総ペナルティタイム(1 試合当に換算)の少ないチームを上位とする。
 - e. 総ペナルティタイムが同一の場合は、総得失点差、総得点の順とする。
 - f. 上記により順位を決定できない場合は、前年度結果による上位チームを上位とする。
 - g. 3 部 5 部は 1 次リーグと順位決定リーグの勝ち点を合計して順位を決定する。
14. オフィシャル : オフィシャル当番チームは、オフィシャルスコアキーピングとルールに精通した者でその任に当たり、責任持って終了させる。オフィシャル当番はスケート靴持参(4 名以上)で試合開始 20 分前に集合し、準備を開始すること。オフィシャル当番が遅刻・欠席・人数不足等によりその任務を履行できなかったと大会役員により判断された場合、審議委員会において罰則を科す。罰則の範囲は不履行により再試合となった場合、その費用負担から無期限の出場停止までとする。
また、試合終了後 10 分以内にゲームシートを完成させること。
15. レフェリー : 2 部～5 部の試合についてレフェリーは 3 人制で行うことを原則とする。
1 部では 4 人制を基本とするが一部 3 人制となる場合もある。
1 部及び 2 部の試合については、レフェリー委員会から派遣とする。
3 部から下位のリーグについては委員会から 1 名ないし 2 名派遣とし、残りはチーム登録レフェリーが担う。常に県連 HP で確認のこと。
16. スーパーバイザー :
- a. ゲームを円滑に運営することを目的として、各ゲームに 1 名のスーパーバイザーを置く。
 - b. スーパーバイザーは、ゲームの運営に関し、会場関係者・レフェリー・オフィシャルと協調あるいは指示を出しその任に当たる。
 - c. スーパーバイザーは、本年度幹事チームから派遣する。
17. 試合中の傷害 : 試合中に傷害を負った選手はスーパーバイザーに届け出ること。
傷害に関するデータは医事委員会に報告され、用具やルール改善の基本資料として活用される。
試合中に傷害を負った選手に対しては、所属チームが責任を持って対処すること。
また、チームはスポーツ安全保険もしくは同等の補償の保険に加入しなければ

ばならない。加入していない選手・役員は大会出場できない。

18. 懲戒委員会 : 委員長 伊藤 一
 委員 中島 透、佐々木 暁、内田 貴典、他1名
19. 登録・出場資格に関する問い合わせ先 :
 鍵和田 和明 <アドレス:「info」の後ろに「@kihf.net」をつける>
20. そ の 他 : 要綱に記載されていない不測の事態が発生した場合は、競技委員会にて別途協議をする。

以 上